

お茶の水女子大学連携講座「臨海実習」

を実施しました

- 実施日 事前指導：令和7年6月12日（木）
実習：令和7年6月28日（土）～29日（日）
- 参加生徒 普通科1年3名 2年8名 理数科1年8名 2年4名 計23名
- 連携機関名 お茶の水女子大学 湾岸生物教育研究所

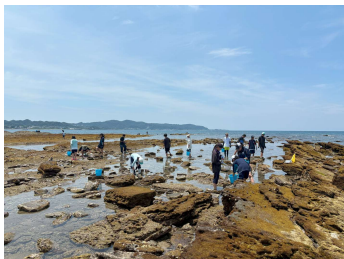
□内容

1日目『海洋生物の採集と分類』

爽やかな初夏の天気の下で、午前中はお茶の水女子大学の清本先生とTAの方からご指導をいただき、沖ノ島（館山市）にて2時間ほど海洋生物の採集を行いました。岩を裏返すと様々な生物を見つけることができ、特に貝類やウニ、ヤドカリ、ナマコなどがたくさん見つかりました。また、他にもクモヒトデやウミウシ、カニ、ヒラムシ、イソギンチャクなどを見つけることができました。午後からは系統に関する講義を受け、分類に関する知識を得ることができました。これにより採集した生物を同定し、詳しく観察を行うことができました。また、生徒たちは自分の興味を持った生物についてグループを再編成し、さらに深く探究しました。夜間にはウミホタルの採集を行い、顕微鏡で形態観察をして、発光の様子を観ることができました。

2日目『動物の系統進化とテーマ別学習』

午前中は1日目のグループごとにさらに観察・実験を行い、発表の準備を行いました。午後にそれぞれのグループ発表を行い、先生方から講評をいただきました。「ウミウシの鰓」「カニの形態と環境」「カニはどうして流れに逆らうのか」「棘皮動物の動き方」「ナマコの体制」「ヤドカリの防衛反応」などそれぞれのテーマで発表が行われました。活発な質疑応答が行われ、それぞれの動物や系統関係について理解を深めることができました。



磯採集の様子



講義の様子



実験室の様子

□生徒の感想

- ・普段は触れ合うことのできない生物と触れ合うことができ、とても良い経験になりました。講師の先生の説明はとても簡潔でわかりやすく生物を学んでいない一年普通科でも理解できる説明になっていました。
- ・先生が、分からないところがあって質問すると、すごく丁寧に細かく説明してくださって、学びが深まりました。今まで知らなかった海の生き物の名前、生態についても知れて良かったです。生物はあまり得意ではありませんでしたが、すごく好きになりました。これからの生物の学習に活かしたいです。また、自然豊かな環境にもたくさん触れられてとても楽しかったです。